



# インドネシアにおける 女子教育を考える カルティニの貢献とその評価

2022

2.28 (月)

18:00-19:30

オンライン会議

Zoom

言語：日本語

## ■ スケジュール

- 趣旨説明 永田良太 (広島大学)  
講演 MYA DWI ROSTIKA (大東文化大学)  
コメンテーター 三時眞貴子 (広島大学)  
質疑応答・意見交換・閉会の辞 Hideki Amangku (PERSADA)

## ■ 主催

広島大学教育ビジョン研究センター (EVRI)  
プルサダ・広島大学共同プロジェクトセンター

広島大学・EVRIでは、広島大学型教育を世界展開することを目指すHUGLI (Hiroshima University Global Learning Institutes) 構想の一環として、ダルマプルサダ大学 (インドネシア) との研究交流を行ってきました。今回のセミナーでは、インドネシアにおける女性解放の先駆者として高く評価されてきたカルティニに焦点を当てて、インドネシアの女子教育について考えます。

カルティニは、インドネシアで初めて女子学校を設立した人物であり、1964年にはスカルノ大統領によって国家独立英雄に列せられ、彼女の誕生日 (4月21日) は「カルティニの日」 (女性解放の日) として祝日となりました。

しかし、近年、彼女の評価については異論も提起されてはじめています。そこで、カルティニの業績を客観的に評価するために、19世紀後半というほぼ同時代にアメリカに留学し、西洋教育の洗礼を受けた日本の女子教育の先駆者である津田梅子を比較対象として取り上げます。

QRコードからもお申し込みいただけます。

お申し込み後にオンライン会議に必要な情報をご連絡します



【お問い合わせ先】

Tel & Fax: 082-424-5265

Email: [evri-info@hiroshima-u.ac.jp](mailto:evri-info@hiroshima-u.ac.jp)

<https://evri.hiroshima-u.ac.jp/21165>